

土大盤二口（中略）以上寮 右殿部所請

〔延喜式四十〕主水聖神寺七種御粥料

土盤七口

〔延喜式四十〕造酒雜給年料

土片盤卅口

〔延喜式十二〕中務藥司

陶盤廿合

〔延喜式三十二〕大膳雜給料

六位已下二百六十人別 陶高盤大盤各十口參議已上

〔延喜式三十九〕內膳諸節供御料中宮亦同 正月三節

瓷盤七口

〔類聚雜要抄一〕御齒固

青瓷佐良七口

〔今昔物語 二十八〕左京大夫 付異名語第廿一

一人ニハ、青ク綵タル折敷ニ、青瓷ノ盤ニ箔ヲ□テ盛テ居タルヲ持セタリ、○下

〔譚海一〕大坂鴻池なるもの、家に、名物の青磁の皿壹枚あり、同人ある日二三輩同道して、生玉の酒屋に遊びたるに、料理に出せし皿の内に、此名物の皿と同様の物あり、少しもたがはず一座嘆美せしに、鴻池なるもの此皿を亭主に懇望し、金三拾兩出しもらひうけ、即座に金子相渡せし所にて、皿をば打碎き捨たり、同伴のもの驚き恠て子細をとひければ、此皿我等家に所持と毫末違ふ事なし、我等所持の皿は世上に人のゑる所なれば、同様の物二ツ有ては、われら所持の名を滅